

- 古賀駅西口周辺整備方針に示した整備の実現に向けて、社会実験による効果・検証を踏まえ、整備計画をブラッシュアップする。以下に方針→社会実験→整備との関係を示す。

【エリアの交通方針】

『駅前広場の再整備』
・通過交通の抑制と、歩行者ネットワークにつながる歩行環境に配慮した駅前広場を再整備する。

『シェアドスペースによる回遊性向上』
・歩行者優先の設えにより、自動車速度を抑制し、歩行者が安全に回遊できる道路空間を目指す。

『シンボル空間軸の創出』
・古賀駅西口への自動車のメインアプローチであるとともに、来訪者のまちなか回遊の起点となるシンボル空間軸を創出する。

『多様な賑わいによる回遊性向上』
・沿道の空き地や空家を積極的に活用し、多様な賑わいを創出することで回遊性の向上を図る。

『まちかどの魅力向上』
・歩行者ネットワークの交点では、歩行者が滞留したり楽しんだりできる機能を配置し、まちかどの魅力向上を図る。

【社会実験の基本的な考え方】

交通社会実験

- 駅前広場整備につながる駅前広場の交通パターンの実施
- 通過交通を抑制する交通体系の実施
- 歩きやすい歩行者動線

効果検証

- 自動車交通量調査
- 歩行者実態調査
- アンケート 等

沿道利活用社会実験

- まちかどの魅力向上を中心とした機能配置、賑わい創出による回遊性の向上
- 地元事業者等との連携による沿道空間の利活用

効果検証

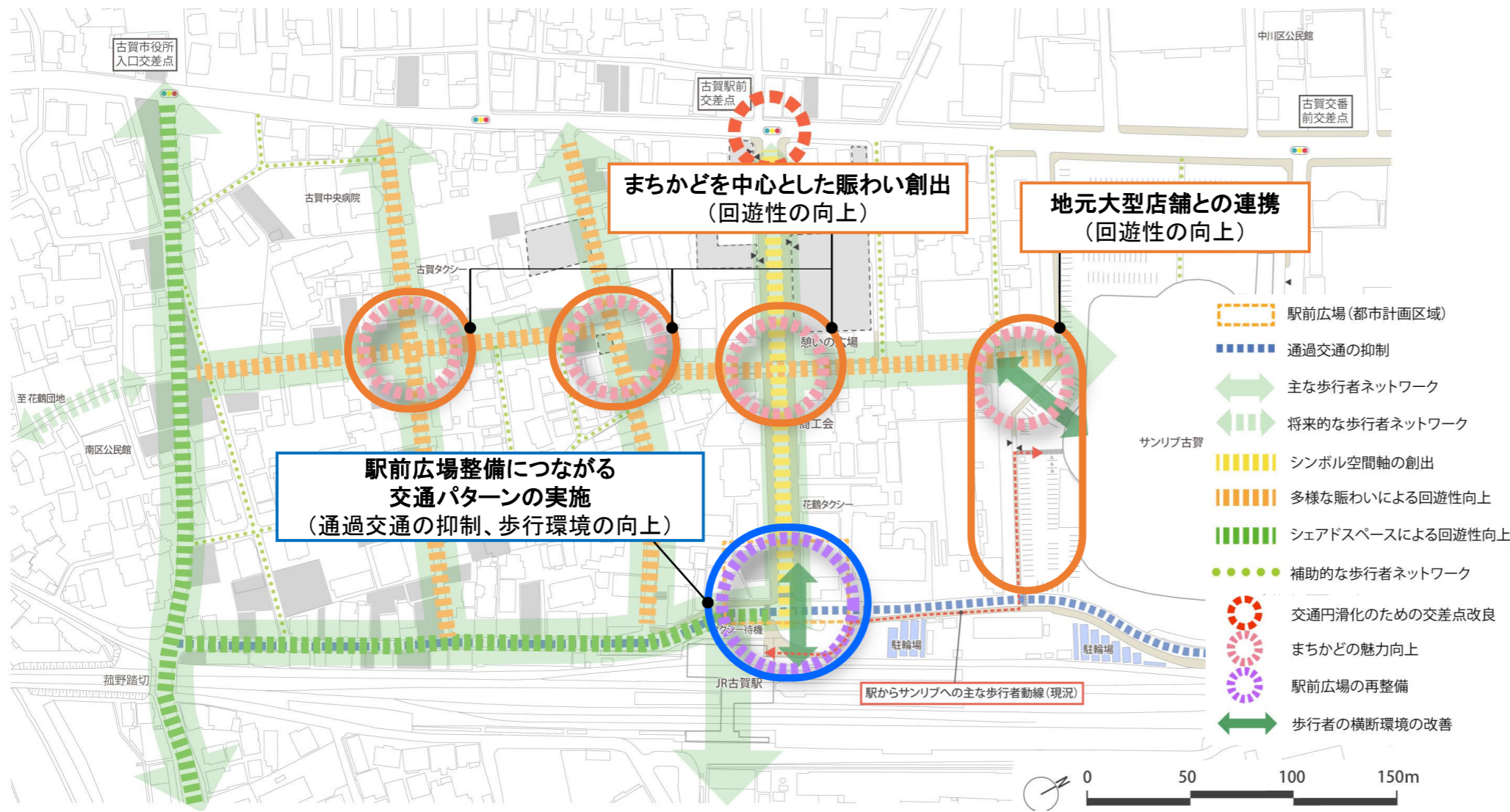
- 歩行者実態調査
- 利用者アンケート
- 参加事業者アンケート 等

【成果を活かした取組】

- 駅前広場の計画・整備
- 交通体系見直し
- 歩行者優先の道路空間の計画・整備

- まちかど空間の整備
- 空地・空家の利活用
- 地元事業者等と連携した取組の継続

社会実験の実施対象 ※道路体系の方針図（狭域）に追記



【実施概要】

プロジェクト名：古賀駅前まるごと遊び場プロジェクト
 交通社会実験：2023年11月15日（水）～26日（日）
 （全期間終日）
 沿道利活用社会実験：2023年11月25日（土）10:00～17:00

交通社会実験 (11/15~11/26実施)

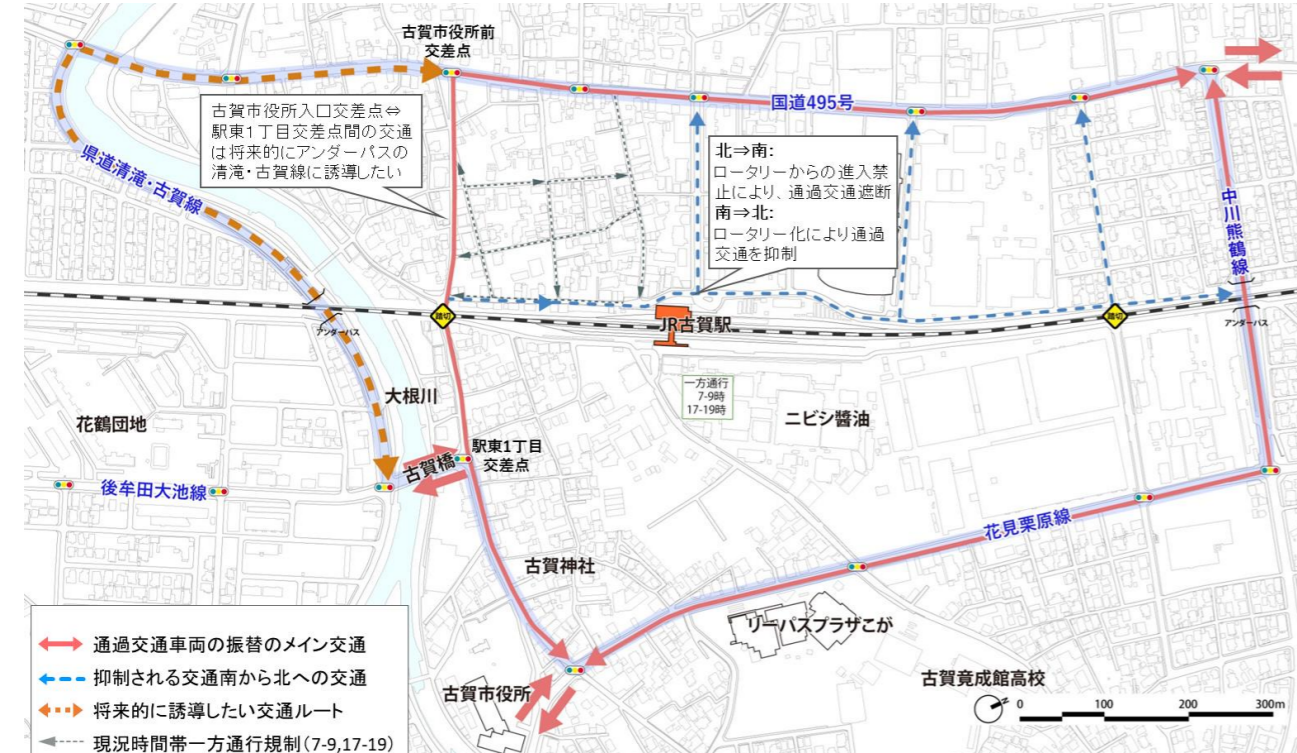
駅広整備に向けた交通社会実験：通過交通を抑制する交通パターン（駅前ロータリー化）

・古賀駅西口の駅前広場と交差点を、一方通行のロータリーと同様の交通ルートとし、南側方面への進入を禁止することにより、駅前への通過交通を抑制する。



交通社会実験は、事前に周辺住民や市民・利用者への周知を行うとともに、実施期間中は各種安全対策を講じます。

社会実験期間中の自動車交通想定ルート



※社会実験期間中の後半の平日1回に、R4年度実施した箇所と同様の交差点交通量調査、ナンバープレート調査を実施することにより、社会実験による通過交通の抑制効果や周辺への交通の影響について検証する。

○実験期間中の様子

・臨時の交通標識・路面標示等



・実験期間中に生じた事項等



標識・路面標示、矢印板を設置していたが、北側からロータリーに左折せず、直進して古賀駅前広場へ右折しようとする車両が見られた（誘導員が止めきれなかった場合もあった）

古賀駅前広場から右折しようとする車両が見られた（誘導員が制止、バックしての左折を誘導）

企業バスの待機により、左折の路面標示が隠れ、左折しにくい状況が発生。通行車両が待機車両を避けるために反対車線を走行することで、駅前広場に入らずに駐車場線に直接右折しやすい状況が発生。



雨天時の夕方は電車到着に合わせて迎え待ちの車両が多く発生し、ロータリーに混雑が発生。電車の到着毎に車両は掃け、長時間の停車は少なかった

一時的に駐車場線の車両の列が増加。南側への進入禁止により駅前交差点において迂回する車両が増えたことが想定される。イベント時にもサンリブ駐車場利用者と想定される車両により列が増加。

時間帯規制中の線路沿い道路の様子。車両の通行がほぼないため、歩行しやすい状況が見られた。

沿道利活用社会実験 (11/25実施)

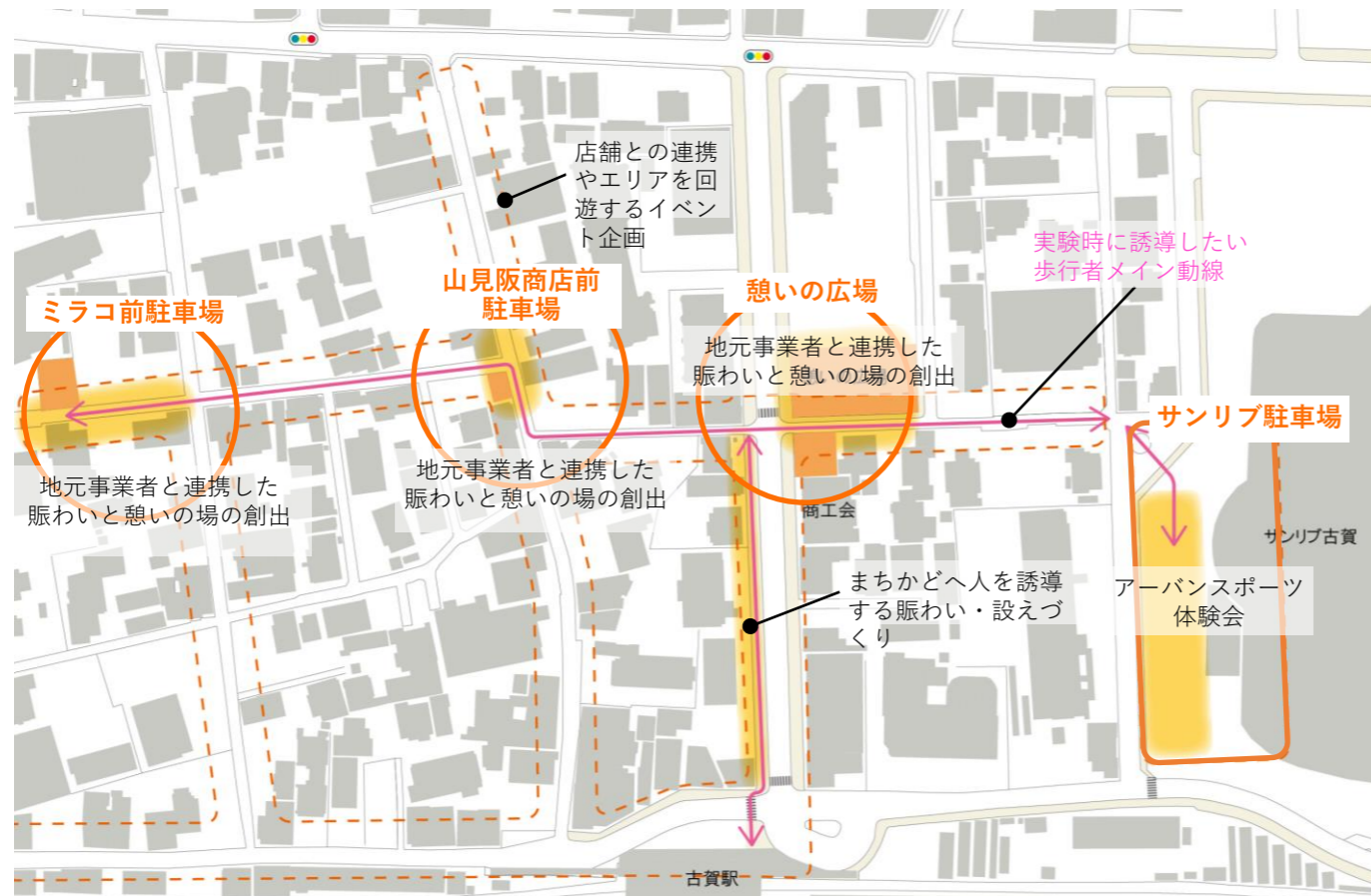
まちかどの賑わい創出

・整備基本方針で示す重要となるまちかどを中心に、賑わい創出のための出店や環境構築を実施。

街なかへの回遊をうながす賑わいづくり

・街なかへの回遊をうながすための、賑わいをつなぐ沿道の利活用や設えづくり、まち歩きイベントを実施。

沿道利活用社会実験のイメージ



まちあるきイベント

商店街にまちかどスペースを設置し、商店街の店舗や当日出店店舗（20店舗以上）をめぐるまち歩きイベントを開催。チケットを購入し、各店舗でお得な商品を購入できる。



アーバンスポーツ体験会

サンリブ古賀駐車場において、スケートボード、BMX、インラインスケートの体験会を開催。

○実験期間中の様子

・核となる広場空間



憩いの広場 (ベンチ等の設置)



憩いの広場 (マルシェ出店)



憩いの広場 (商工会前)



ミラコ前駐車場



山見阪商店前駐車場



サンリブ駐車場 (アーバンスポーツ体験会)

・イベント参加の店舗



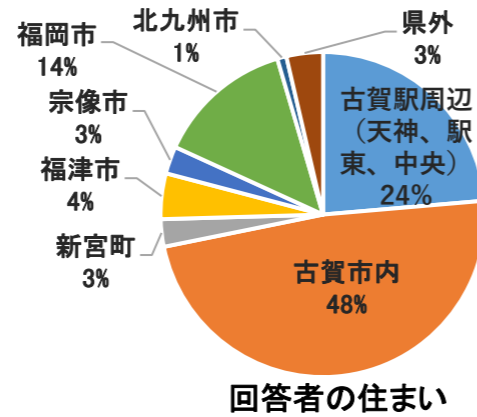
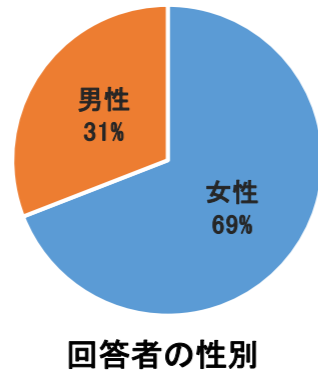
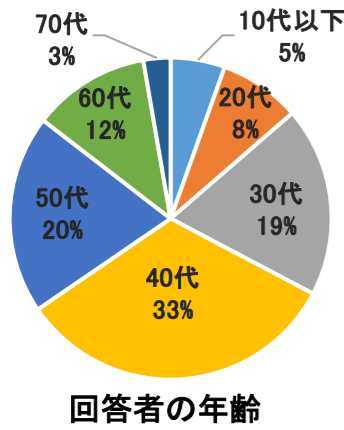
・まちなかを回遊する様子



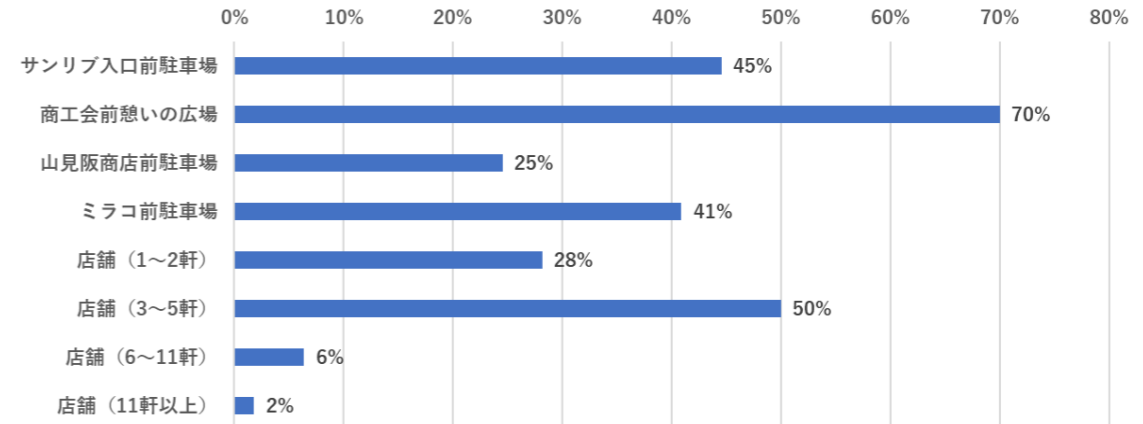
【アンケート概要】

実施日 : 2023/11/25 (土) 調査方法 : QRコードを利用したWebアンケート
対象者 : まち歩きイベント参加者 回収数 : 110票

【回答者の属性】

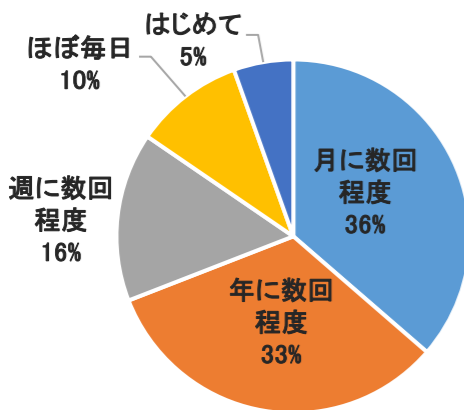


Q: イベント中に立ち寄った場所をすべてえらんでください (複数回答可)



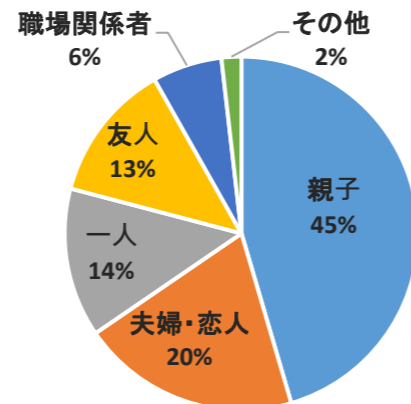
- ・70%の回答者が商工会前憩いの広場に立ち寄っている
- ・商工会前憩いの広場以外の会場は50%を超えておらず、広場目的より店舗利用目的の参加者が多かったと想定される
- ・同様にサンリブ入口前駐車場、ミラコ前駐車場と比べ山見阪商店前駐車場の利用者が少なく、飲食店等の有無の影響が想定される
- ・多くの回答者が複数個所に立ち寄っており、まちなかの回遊性向上につながっている

Q: 古賀駅西口にどの程度の頻度で訪れますか



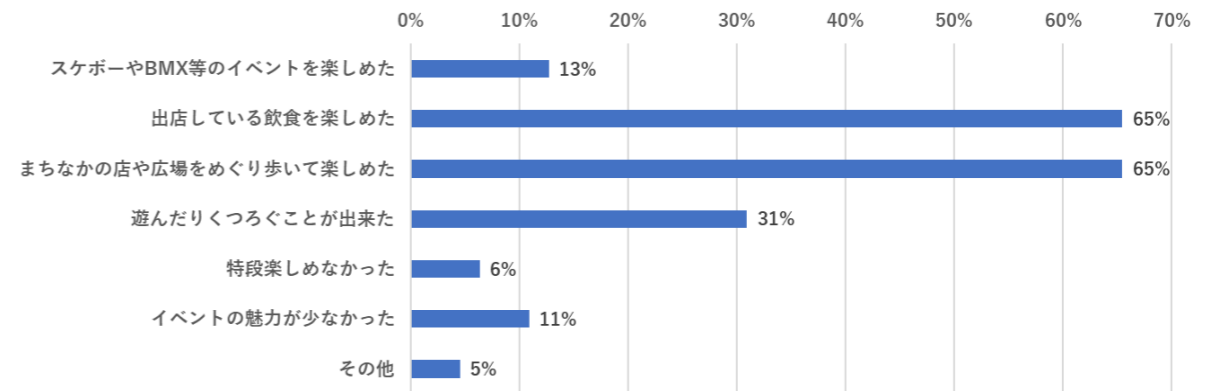
- ・月に数回程度、年に数回程度の回答者が約7割と普段西口をあまり利用しない人々の集客につながっている

Q: イベントには誰とききましたか



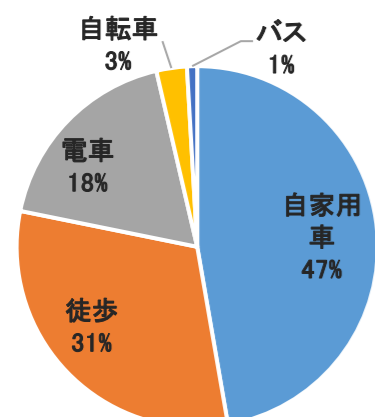
- ・親子での来訪が45%と最も多い
- ・次いで夫婦・恋人、一人となっている

Q: イベントについて、どのような感想をもたれましたか (複数回答可)



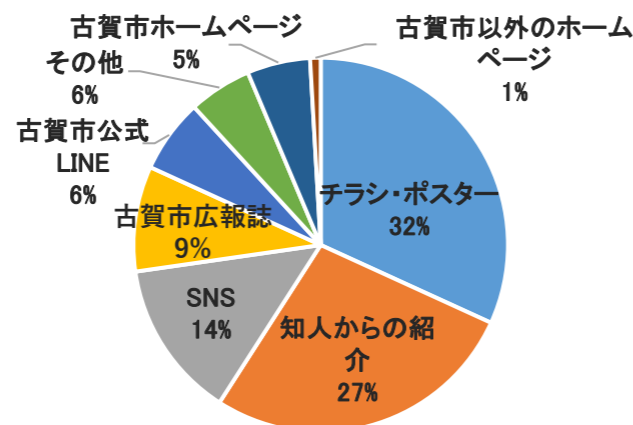
- ・飲食や歩いて楽しめたという感想がどちらも65%と最も高い
- ・ネガティブな感想は多くないが11%がイベントの魅力不足を挙げている

Q: 古賀駅西口はどうやって来ましたか



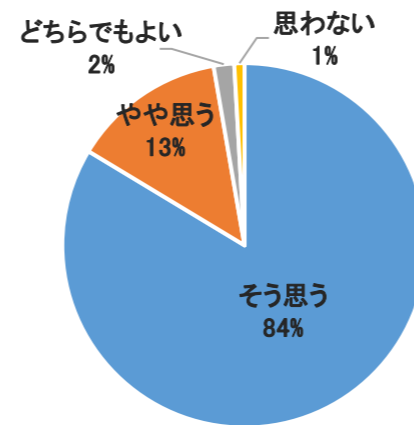
- ・自家用車が47%と最も多い
- ・次いで徒歩、電車となっている
- ・徒歩のうち約半数は古賀駅周辺(天神、駅東、中央)以外の市内居住者

Q: イベントを知ったきっかけ



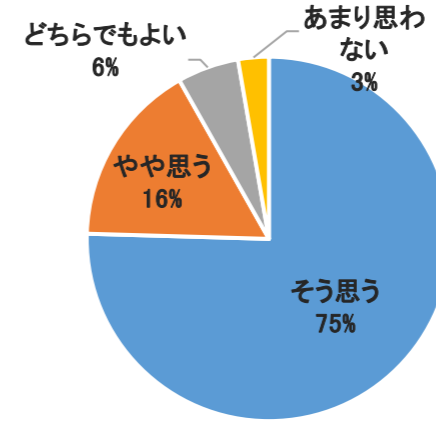
- ・チラシ・ポスターが32%と最も多い
- ・次いで知人からの紹介、SNSとなっている

Q: 広場やまちなかをめぐって楽しめるイベントを今後も継続した方が良いと思いますか



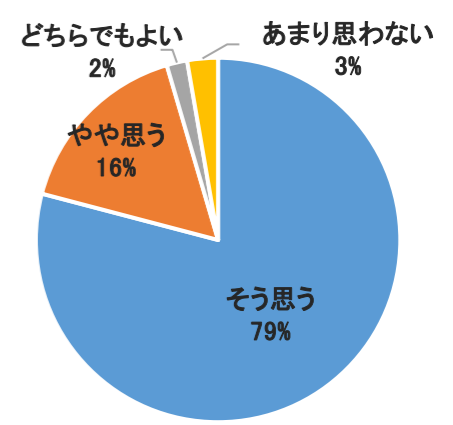
- ・そう思う、やや思うを合わせるとイベントの継続意向を示した回答者は97%
- ・思わないは1%となっている

Q: 日常的に広場や休憩スペース、ベンチ等が複数あったほうがよいと思いますか



- ・そう思う、やや思うを合わせると休憩スペースを求める回答者は91%
- ・あまり思わないは3%となっている

Q: 歩行者にやさしいまちなかづくりに向けた取組を今後も実施すべきだと思いますか



- ・そう思う、やや思うを合わせると歩行者にやさしいまちなかづくりに向けた取組を望む回答者は95%
- ・あまり思わないは3%となっている